和野名石集 下

壹函
三冊

雄德山松花堂惺之翁

花下長歸因

矣京楊前動

破兒壽風

春八物見れば
立寄れば
舟かすかの
のどけ音人
あなる

信濃沙弥
湖月亭曉
鶯
強吟
芳源寺

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ちるもみぢ

水[illegible]

ふるさと

なるもみぢ

[illegible]

朔踏落葉相

俳仙蕎隨花

鳥一時来

さくらちる木の
した風は
さむからて
空にしられぬ
雪そふりける

紅帯
背壁燈　信
殘經宿焔　乎
香
無箱

孫呉文寛

多山也

俊長多夫

左京亮

秋萩

小倉山

しかのなき

分の月

高砂

玉かつらかな

秋萩

新秋地

桐葉

風涼

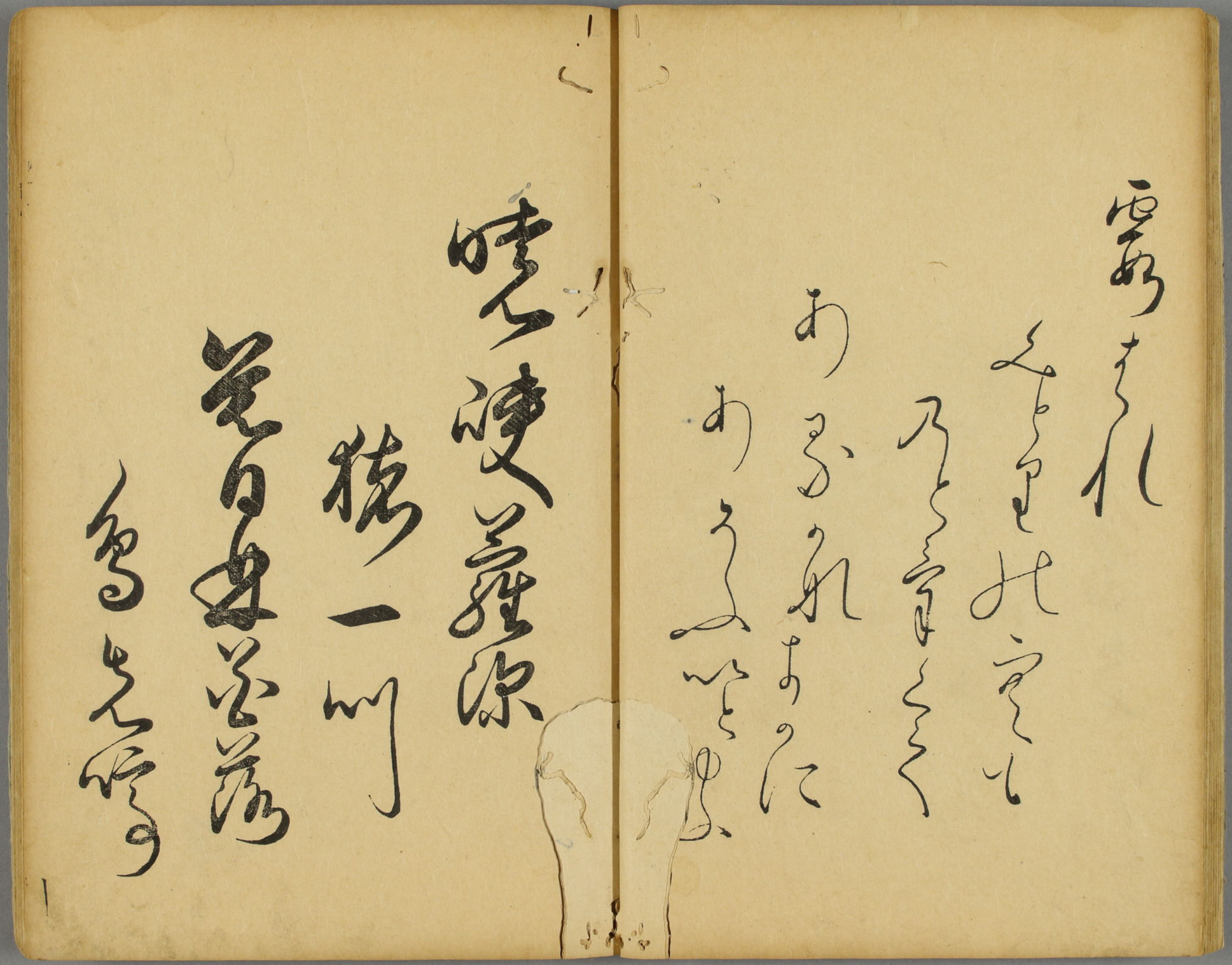
秋雨

玉川とせ戦業
力をこたかう
天の氣
[illegible]

二月廿舞
雪花初白
一夜春
霜葉赤

夜を寒み
祢覚てきけハ
鴛そなく
霜やをくらん
はらひもあへす

踊鳥鶴
舞々目高見
飲々濁々酒
舞々云ことに候



如斯に
まし羅なるよ
元亨
元亨
あ
やはあるべ

若使業
是義
復之
不之

酒

かしして　えいきをかけせ
いる後京新豊家後

べしいよしらくさぶまいえこそ
夜」云四郎不知之

ありしのきのむちてそ
さらつきの月かけもそ
なめもそ

晨明の
そそきたれる
若
元のまも
ひくく出
て
秋の庭

郷類曉興

世路老
空山雪
夕人寒

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
むるなれども
くてはなる
たるの時乃
[illegible]

二月四人
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]を小瓶
かりさやう音
秋の月
雲ふかくて
[illegible]や[illegible]乳

向晩簾以
生白露
孤衾床底
見青天

夜ふかくなくま
猿より声ぞ
のよそに
こ羅さへしくも
みしかよなれ

蘭省花時
錦帳下
廬山雨夜
草菴中

山さとはあ
きのゝ草
しをれ
世のうき
ゆゑよりも
ものかな

長生殿

意志秋雨

不老門

前日月遊

山市晴嵐

一等酒帥斜陽忘

數簇人家煙浮中

山路醉眠

歸去晚

十五日

不素風

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

遠浦歸帆

鷺島青山一抹秋

波平沒橋玉流

歸橋渺入

蘆花去

長堤夕陽

江上頭

風むかしものがたり

源氏物語みなれ

清少納言枕草子

、うるはしき人

源村多昭

爲若沙彼氏

江面江竹間

南亘鶴

時雨賞酒

大納言

雨風

藤原雅経

なみのうへにいかりをしつる

波の上に船をしつる

まつをしる

の和歌

遠寺晩鐘

雲遮不見梵王宮

殷〻鐘聲訢晩風

此去上方

猶遠近

爲言只在

此山中

く為う馬寄合

かゝの手に寄らう

みちゝ拾ひ乳事

人七

義河落鷹

古字考漢

墨摘

幾り秋色の室所

洞庭秋月

西風雁出塞

天高

芙蓉頃燈波海棠花

漁舟初

霧高根

直吹寒新

白蘆花

秋年暮三門
淋しく鳴る音て
力なくせる
拾ふて殘なり

潯湘夜雨

芝自黒江易影祝
凍雲粘雨湿黄昏

孤燈蓬窓

秋雨

秋蕭蕭

秋雨竹枝

添滴瘦

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

江天暮雪

蘆渚白鷺玉蕊

扁舟一笛雪外月

前溪明月晚

西郊春雨

新晴山路

高興人

古人學書者未有不從門入蘇公終爲
非家珍實知蘇公語病如彼鍾繇受羣
仲將羲之學衛夫人者有故乎名公墨
寶者何　本朝諸名公之墨刻也
本邦自古未見有勤珉刻木之帖是非
乏其人而好事者鮮矣一日或人以此
事求我序假借所知家藏檢究目力臨
模鐫刻者若干人若干帖或行草或假

名惟急於成帙有不得廣蒐博采之遺
憾然墨寶之嗜好淳化之遺意也於是
可見龍飛虎跳風雲浮動之姿縱雖無
柳采望其面目者也若臨池者步其蹊
逕知其端倪者庶幾一助云爾

正保三年仲冬月

市本町
松大名